

はじめに

岐阜経済大学地域経済研究所は、付属機関「まちなか共同研究室マイスター倶楽部」とともに、地域の経済・社会・文化の研究・調査を通じて、地域の発展に貢献することを目的として設立された調査研究機関です。今年度(2011年度)、岐阜経済大学地域経済研究所は、年間の研究テーマを「地域づくりと支援・支えあい」と定め、調査・研究・支援活動を行ってまいりましたが、本号は、その1年間の研究調査活動の成果をまとめたものです。

今年度の研究テーマを「地域づくりと支援・支えあい」と定めた理由は、地域づくりと支援・支えあいがこそ今何よりも地域で求められている事柄であるからです。

経済の地域的な不均等発展や経済のグローバル化のなかで地域の経済が疲弊している今日、地域住民によって地域をどう再生していくのかが問われています。加えて、2011年3月11日の東日本大震災によって、原発問題も交えながら、地域をどう創っていくのか、地域でどう支えあっていくのかということが、被災地域のみならず、全国の地域において問われているといえます。すなわち、住民による地域づくりの方向性について、科学的根拠と政策的・運動論的指針を提供することがますます重要になっているわけです。

以上のような問題意識から、岐阜経済大学地域経済研究所は、ある時は共同研究プロジェクトの立ち上げを通じて、またある時は地域からの依頼に応じて、さらにまたある時は地域の人々とともに考える公開講演会の開催という手法を通じて、このテーマをあらゆる角度から調査・研究をするとともに、支援活動にも積極的に取り組んでまいりました。具体的には、過疎・中山間・農山村地域での地域づくりに関する研究、大学の地域貢献の在り方に関する研究、岐阜県地域経済における東日本大震災の影響調査、被災地岩手県陸前高田市・大槌町での調査・研究・復興支援活動、福島原発事故と食卓の放射能汚染問題に関する公開講演会、などがあげられます。

本号に収録された研究論文は、これらの研究・調査・支援活動の成果に基づいて執筆されたものですが、その研究・調査・支援活動においては地域住民の方々、岐阜県の産業界、県内外の自治体など関係者の皆様方の多大なる御理解、御協力、御支援を頂きました。ここに心より厚く御礼申し上げる次第です。

2012年3月

岐阜経済大学地域経済研究所長

佐藤俊幸